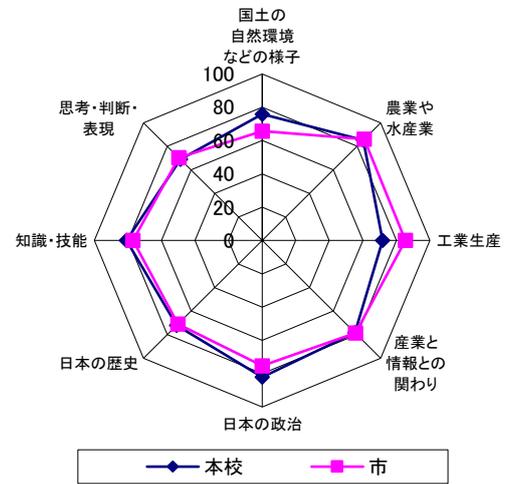


宇都宮市立桜小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	75.9	65.7	67.0
	農業や水産業	85.3	86.1	77.5
	工業生産	71.8	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	78.2	78.6	69.6
	日本の政治	82.1	75.2	65.8
	日本の歴史	72.1	71.1	69.1
観点別	知識・技能	80.8	77.0	72.8
	思考・判断・表現	68.9	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の周辺の海洋名を答える設問では、7ポイント市の平均を上回った。 ○日本の周辺の国と領土の端を答える設問では、9ポイント市の平均を上回った。 ○日本の気候の様子を答える設問では、15ポイント市の平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土の様子について、フラッシュカードを用いるなどして興味をもたせながら、復習をさせるようにしたい。
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> ○食料生産についての正答率が市の平均を超えており、学習内容を理解できている。 ●米作りについて考える設問では、正答率が3ポイント市の平均を下回った。 ●水産業の変化について資料を読み取る設問では、正答率が5ポイント市の平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りや水産業について、ニュースや新聞などを紹介するなどして、分かったことや考えたことを書いたり発表したりする機会を授業などで増やしていきたい。
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の工業生産についてや自動車の生産についての問題では、正答率が市の平均を下回っている。特にエコカーとガソリンカーを比較する問題では、大きく市の平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の工業生産や自動車の生産に興味をもたせながら、自分の生活と学習していることを関連付けて理解させていくようにしたい。 ・エコカーについては、環境問題と関連させて理解を深めていく必要がある。
産業と情報との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○情報産業の役割を答える設問では、3ポイント市の平均を上回った。 ●情報の正しい受け取り方についての理解に関する問題の正答率が市の平均を4ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学活や道徳科などで情報について学習する機会を生かして知識や理解を高めるだけでなく、実践力(スマホ等の活用時の留意点など)も高めていきたい。
日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ○三審制に着目して、裁判の仕組みについてを答える設問では、3ポイント市の平均を上回った。 ○国会の働きについて答える設問では、7ポイント市の平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治について、時事問題を用いるなどして興味をもたせながら、復習をさせるようにしたい。
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史については、どの時代もよく理解しており、正答率は市の平均を上回っている。 ●弥生時代に関する問題や室町文化の特徴については、正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率の低かった設問について、復習させるようにする。